

会議

4人

いつものワークスペースに集めたチームにリモートでの参加者を交えて、コラボレーションを拡張します。



製品 ID

製品

1 CTS-MX200-K9*	Cisco TelePresence MX200 G2
2 CTS-MX200-K9 に同梱	Cisco MIC20
3 CTS-MX200-K9 に同梱	Cisco TelePresence Touch 10

* エンドポイントを発注する場合は、MX200 G2 の床据置キット CTS-MX200-FSK を選択してください。



Cisco MIC20

シスコが設計したこの卓上マイクは、テーブルを中心に人が集まっていたり部屋全体に人が散らばっていたりする状況で 360 度の集音を実現します。



Cisco TelePresence Touch 10

Cisco TelePresence Touch を使用すると、通話からコンテンツ共有まで、会議を簡単に制御できます。

Cisco TelePresence MX200 G2

小規模の多目的会議室でのテレプレゼンスを可能にします。42 インチ ディスプレイと広角カメラにより、ビデオ会議でも、室内プレゼンテーションの画面として使用するときでも、参加者全員が画面を見ることができます。

ベスト プラクティス

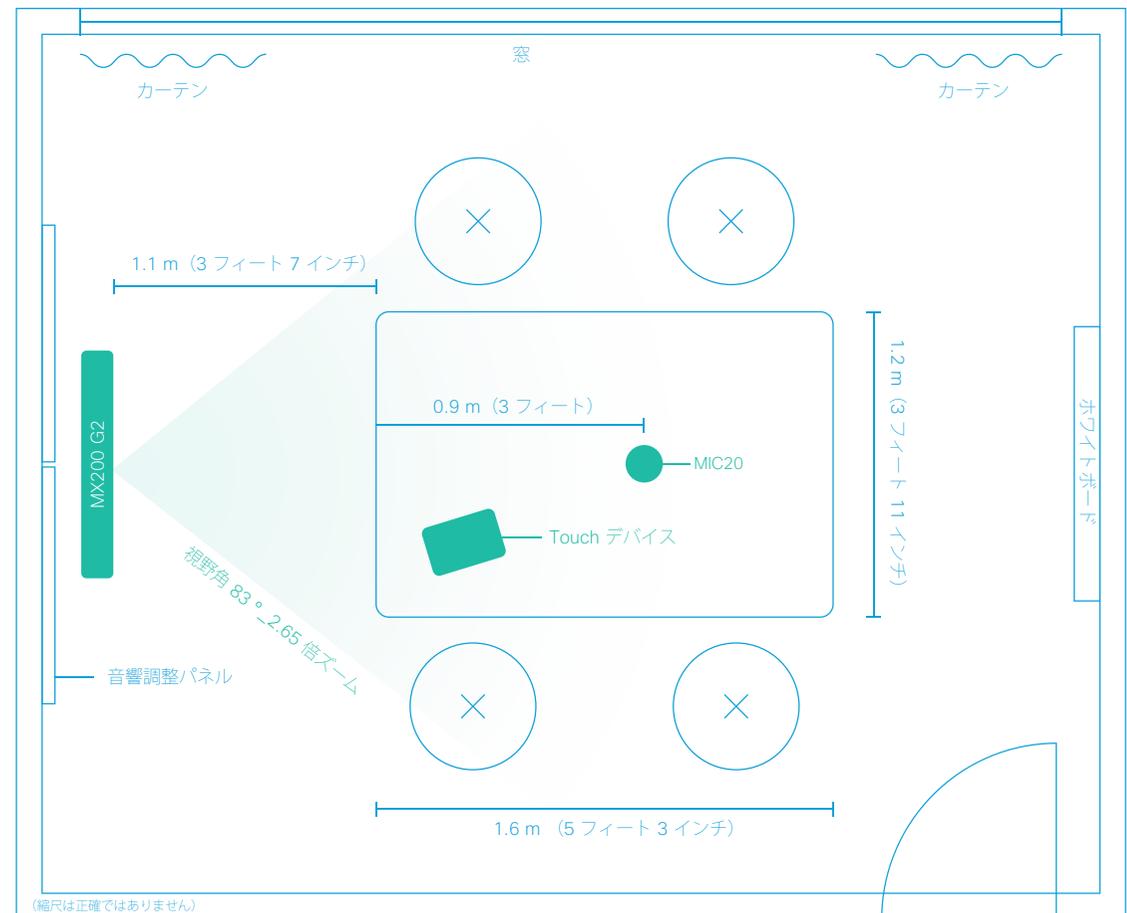
システムからテーブルまでの距離は、カメラの視野角 (83°) によって決定されます。この距離にカメラを置くと、すべての参加者を画面に捉えることができます。カメラに直射日光が入らないよう、システムは窓に隣接する壁に設置します。4 人の参加者の視野角を確保するには、システムよりもやや幅広い、長方形のテーブルを使用します。

フラッター エコーを避けるために、吸音パネルをシステムの後ろの、窓に隣接する壁に設置します。窓にカーテンを取り付けても、吸音の効果があります。床にカーペットを敷いても吸音効果があり、椅子を動かす音も軽減できます。

1 台のシスコ無指向性マイクを、テーブルの中央部分のやや遠端寄りに配置します。内蔵マイクは、システムのすぐそばにいる参加者の音声を拾いませぬ。マイクをこのように配置すると、正確で自然、かつ高品質な音声を 4 人の参加者全員から拾うことができます。

ホワイトボードは、エンドポイントの反対側の壁に配置します。そうするとホワイトボードはカメラの撮影範囲に入り、必要に応じてカメラのプリセットを使って簡単にズームできます。カメラにより、ホワイトボードの内容や参加者 (着席および起立の両参加者) が高画質で撮影されます。回転椅子を使うと、システムからホワイトボードへとフォーカスを移すのも簡単です。

* これは、シスコの研究開発チームによって構築およびテストされた物理構成を表したものです。他の構成も可能で、同等の性能が得られます。部屋の寸法は、必ず現地の規則や法律に従う必要があります。Project Workspace の今後のバージョンでは、さらに細部の変更と開発が行われる予定です。



シナリオとセットアップの詳細については、
次のサイトをご覧ください。

www.cisco.com/assets/global/JP/sol/tp/workplace_app/index.html